

千電協会報



一般社団法人

千葉県電業協会

2017. 1 第43号



目次

(敬称略)

● ご挨拶

| | | | | |
|---------------|---------------|-----|---|---|
| 会 | 長 | 五十嵐 | 治 | 美 |
| 千葉 | 知事 | 森田 | 健 | 作 |
| 千葉県 | 県土整備部施設改修課 課長 | 加我 | 道 | 男 |
| (一社) 日本電設工業協会 | 会長 | 山口 | | 学 |

● 1年を振り返って

- ・第54回通常総会・懇親会
- ・平成28年度地区別会員交流会
- ・三県連絡会議
- ・千葉県高等学校工業教育研究会 「総合技術コンクール」
- ・委員会報告
 - 防災・渉外委員会
 - 技術・人材委員会
 - 総務・企画委員会

● 寄稿文

| | | | |
|-----------------|------------|----|----|
| 「ある一つの目標に向かって」 | 東亜電設工業(株) | 菊地 | 晃 |
| 「わが町、木更津市の芸能情報」 | 南総電機(株) | 近藤 | 雅文 |
| 「老いて益々輝くために」 | 房総電機工業(株) | 山本 | 邦彦 |
| 「健康的な体作りのために」 | (株) 間宮電気工業 | 渡辺 | 貴之 |
| 「山は人生の道標」 | 六幸電気工業(株) | 真田 | 春美 |

● 新入会員紹介(計 2社)

(株) DSSセンター 福井電機(株)

● 賛助会員広告(電材部門 計 5社)

● 会員消息

● 会務報告

● 総会日程案内

● 協会役員

● 組織表

● 会員名簿

● 編集後記



(表紙等の写真) やわたんまち・館山市

年頭のご挨拶



(一社)千葉県電業協会会長

五十嵐 治 美

新年明けましておめでとうございます。

2017年の年頭にあたり、謹んでご挨拶を申し上げます。

日頃より会員の皆様方はもとより関係各位様には、協会活動に対しご理解ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、昨年 of 日本経済はどうだったのでしょうか。2月に日本銀行の大規模な金融緩和「マイナス金利政策」が導入されました。金融緩和には、円安を通じて企業収益を高めるだけでなく、賃金と雇用を伸ばす効果が期待されたものの、4月には原油価格の急速な下落現象が起き、8月には1ドル100円まで上昇する円高にみまわれました。また企業の設備投資や家計の消費には力強さが見られず、景気への刺激効果が期待できないまま、日銀の物価上昇率目標「2年で2%」は3年経過しても達成できず、消費増税の延期も採択され、国民の経済の先行き不透明感やデフレ心理（消費低迷）を払拭できないまま年の暮れを迎えました。今後経済の好循環が期待できなければ、将来に向けての安定的な税収の確保が難しくなり、これからの社会保障費の増加についていけない状況にも直面しております。

そのような状況の中、建設業界も受注総額では「減少傾向」が続いており、今年はさらに減少の度合いがやや強まるのではないかと懸念しております。ところが現場では、いわゆる「人手不足」による影響でどの職種も人の手当てが追いつかず、工期の遅れによる残業や休日出勤を強いられており、仕事があっても受注できないとの声が聞こえてきます。それは近年の少子高齢化現象が進み、ベテランの退職者が増え、それを補う数の若者の入職者を確保できていなかったことが要因とみられます。現代の若者は収入だけを求める傾向が低下し、仕事と余暇の両立を求める傾向が強まっていることから、土日、休日がきちんと取得できる業種に人が流れてしまう状況です。それだけでなく大卒、高卒の離職率を見ますと他業種と比べ高く、入社して3年以内の離職者数が50%近くに上るのが建設業の現状です。建設業界での担い手確保とその後を定着させていくには、現場の週休2日制や

長期休暇の実現、労務単価の上昇など労働環境・待遇の改善に向けて建設業全体での努力が必要です。

当協会では平成 21 年以来、若い有能な人材を確保するため千葉県内工業高等学校を中心に
出前事業を展開し、さらにその教員の方々と意見交換会を実施し続けて参りました。
昨今では千葉県高等学校工業教育研究会の「総合技術コンクール」への審査員の派遣や、
会員企業へのインターンシップ受け入れを推奨しているところですが、学生に電気工事に
興味を持つ意欲を作り出すことが一番重要と考えます。会員企業の存続、継承、そして繁
栄を促すためにはやはり若者の力が必要なのです。就労支援を通じて入職者をいかに増や
すかがこれからの協会にとって第一の課題としていかねばなりません。

昨年 5 月の改選後、理事・委員の入替が行われ「事業の検証」と「会員拡充計画」につ
いて話し合いがもたれました。当協会の事業内容・事業目的に沿って 3 つの委員会「防災・
渉外委員会」「技術・人材委員会」「総務・企画委員会」の委員の皆さんの協力によって、
これらを中心に協会運営を行っておりますが、現委員会体制になってから 8 年を経過しこ
れまで見直しが行われていませんでした。これからの魅力ある協会創りを目指すには先の
時代を見越した施策を打ち出さなければなりません。まずは各委員会にて「事業の検証」
と題して事業内容を点数化してもらい、それを基に地区別会員交流会を通じ協会員全員に
評価をもらいました。交流会出席者からはおおむね「良」にあたる回答をいただき、会の
運営にご理解いただいたことに感謝を申し上げます。今後この活動内容を維持しつつ、本
年度は新たな「魅力ある協会」創りに着手できるよう努力します。また「会員拡充計画」
において、計画案作成前に新入会員 2 社が加わり勧誘活動にさらに弾みがつくことの期待
が膨らみました。皆様のお蔭をもちまして会員数の変遷はここ数年来横ばい傾向が続いて
います。さらなる新しい会員を呼び込むにも「協会の魅力」を高めて行かねばなりません。

最後になりますが、昨年 10 月当協会元会長関泰雄様のご逝去されました。関泰雄様は
設立当初より、当協会の礎を築き上げられた方のお一人で、昭和から平成に替わる日本経
済の変革期に会長に就任し、社団法人に移行を図り協会の公益性に大変寄与ご尽力下さい
ました。謹んでご冥福をお祈り申し上げますと共に、会員一同哀悼の意を表します。

新しい年を迎え、会員皆様と皆様の御家族にとって健康で幸せな一年となりますことを
祈念いたしまして、年頭の挨拶とさせていただきます。今後とも協会が会員各社の繁栄の
ために寄与する組織であり得るよう、執行部一同全身全霊をかけて業界発展のために取り
組んでまいり覚悟でございます。



知事年頭のごあいさつ



千葉県知事

森田健作



明けましておめでとうございます。

一般社団法人千葉県電業協会の皆様には、輝かしい新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

また、皆様には、日頃から技術の研鑽、品質の向上、安全性の確保等に取り組み、本県の電気業界の発展に御尽力をいただくとともに、県政の推進に御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、平成27年国勢調査によると、本県人口は増加となっているものの、少子高齢化の傾向が鮮明になっています。

そこで、県では、「子育てサポート日本一」を目指し、待機児童解消に向けた保育所などの整備促進や子どもの虐待防止に取り組むとともに、高齢者の地域包括ケアの実現を目指した施策にも積極的に取り組みます。また、保育士、医師などの人材確保の推進や、AEDの使用促進なども図っていきます。

県民の「安全と安心」については、東日本大震災や熊本地震の教訓を忘れず、県民、事業者、自主防災組織、市町村、県などが一丸となり、「災害に強い千葉県づくり」に努めます。また、移動交番車や「防犯ボックス」を効果的に活用し、地域防犯力を一層強化するとともに、「電話 de 詐欺」に対しては、県、県警、市町村、民間企業が連携して撲滅に向けて取り組みます。併せて、自転車の安全利用をはじめ、交通安全県民運動を一層推進し、交通事故のない「交通安全県ちば」を目指します。

本県の発展を支える社会基盤の整備では、成田空港の更なる機能強化について、地域の意見を真摯に受け止め、関係機関と協議を進めるとともに、東京外かく環状道路千葉県区間や北千葉道路、首都圏中央連絡自動車道の未開通区間の1日も早い開通を目指します。

県経済の活性化については、中小企業・小規模事業者支援策の推進や、健康・医療等成長産業の振興等に取り組むとともに、茂原市と袖ヶ浦市の2つの工業団地の分譲の入札を始めるなど、戦略的な企業誘致の推進に取り組みます。

農林水産業については、収益力向上に向け、農地集積や県産品の販路開拓などを進め、生産者や関係団体とともに力強い千葉の農林水産業を創り上げます。

東京オリンピック・パラリンピックの開催に向けて、各競技のジュニア選手や障害者アスリートの育成強化、選手・関係者、観光客へのおもてなしの体制づくりなどに、「オール千葉」体制で積極的に取り組みます。

本年も、首都圏、そして日本をリードし、県民が「暮らし満足度日本一」を実感し、次世代に誇れる「日本一の光り輝く千葉県」の実現に向けて全力で取り組んでまいりますので、御理解、御協力をよろしくお願いいたします。

結びに、一般社団法人千葉県電業協会のますますの御発展と、会員皆様の御活躍を祈念申し上げます、年頭のあいさついたします。



年頭のごあいさつ



千葉県県土整備部施設改修課 課長

加 我 道 男



謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

一般社団法人千葉県電業協会の皆様におかれましては、日ごろから県の宮繕行政の推進に御協力いただき心より感謝申し上げますとともに、災害発生時の応急対応や資器材の調達、訓練などに御尽力されておりますことに深く敬意を表します。

県では、「暮らし満足度日本一」の実現を目指し、防災をはじめ医療、福祉、子育て支援や教育など、安全・安心な県民生活を実現するための各種施策に取り組んでいます。

この中でも、庁舎・学校施設等の耐震化や老朽化施設の改修工事を内容とする宮繕行政は、県民の関心が高く、特に重要な「震災に強いまちづくり」や「危機管理対策」の推進を担っています。

平成 28 年には、県立学校全ての耐震化を完了するとともに、香取合同庁舎や衛生研究所、消防学校の建替え工事等を実施したところです。

昨年は熊本地震が発生し、庁舎等の多くの公共建築物が被災、とりわけ住民の避難所として指定されている体育館が使用できない状態に陥るなど、私たちに公共建築物の役割を改めて考えさせる出来事となりました。

県では、耐震化とともに、建築物の非構造体である大空間天井、いわゆる特定天井の落下防止対策にも取り組んでいるところであり、県立学校の体育館 110 棟を中心に、計画的に対策を講じていくこととしています。

さて、昨年夏に開催されたリオオリンピック・パラリンピックでは、千葉県ゆかりの選手をはじめとする日本代表選手が目覚ましい活躍を見せてくれました。この活躍は国民に大きな感動をもたらし、2020 年の東京大会に対する期待を高めています。

幕張メッセでは、レスリングやフェンシングなどオリンピックで 3 種目、パラリンピックで 4 種目が実施されます。県では、選手が最高のパフォーマンスを発揮し、世界中の人たちに感動を発信する舞台にふさわしい施設とするため、特別高圧受変電設備・高圧発電設備の更新などの老朽化対策とともに、エレベーター増設や中央エントランスホール改修

等の機能強化に取り組んでいます。

幕張メッセをはじめ庁舎や文化施設など県の施設は間もなく築 30 年を迎えるものや、既に経過したものが多く、今後、老朽化対策と建替えの需要増大が見込まれています。

県民の貴重な財産である公共建築物の整備には、多様な利用者への配慮や防災・耐震性能、環境負荷の低減、ユニバーサルデザインの適用などあらゆる面で高い性能が要求されます。

また、これからの整備は維持管理費用を抑制するため、施設の長寿命化が求められています。

これらのニーズに対応していくためには、豊富な経験と高い技術力を有する貴協会の御協力が必要と考えています。

会員の皆様には常に最新技術の研鑽や後継者の育成、安全管理の徹底等に励まれ、電気設備業界のリーダーとして県民生活の安心・安全確保、公共福祉の増進、産業の振興に御尽力いただきますことをお願い申し上げます。

結びに、一般社団法人千葉県電業協会のさらなる御発展と会員の皆様の益々の御活躍を祈念いたしまして年頭の挨拶といたします。



年頭のごあいさつ



一般社団法人 日本電設工業協会会長

山口 学



謹んで新春のご挨拶を申し上げます。

昨年は、熊本地震や北海道・東北地方への台風、阿蘇山の爆発的噴火など自然災害が続きました。経済・産業活動や国民生活を支えるライフラインを担う電設業界としては、災害への備えを改めて考えさせられた一年でした。

当協会は、新アクションプランに基づき、行動する電設協として「夢と生きがいのある電設業界」を目指して事業展開を進めます。

(1) 若年層の入職促進の仕組みづくりに取り組むとともに、登録基幹技能者の処遇改善の具体化と適正評価の推進や、社会保険加入促進、女性の活躍、週休2日の確保、超過勤務の解消など、労働環境の改善に向けた取組みを推進します。

また、建設技能労働者の大量離職時代を乗り越え、未来に繋がる生産体制を確保するため、ハード面、ソフト面を含めた生産性向上に向けた取組みを促進します。

(2) 品質の高い電気設備を提供するため「適正な価格での受注」を確保するとともに、適正な受電時期の確保に向けた取組みや設計図書の精度向上などにより「適正工期の確保」を目指します。また、工程のしわ寄せを受けている現場の実態調査も進め、関係者相互間での受電時期までの工事出来高チェック体制の確立を目指します。

(3) 品質とコストの関係が透明かつ明確で改正品確法の理念にも適った分離発注の一層の浸透を目指し、「分離発注促進キャンペーン」を展開するとともに、分離発注の優位性について提案力の強化に取り組めます。

(4) 電力の供給事情の変化や節電ニーズに的確に対応し、省エネルギー対策の強化と再生可能エネルギーの活用に積極的に取り組むとともに、電力システム改革の方向性を見据えた新しいビジネスモデルのあり方を検討します。

(5) 海外電気設備工事の品質向上に向けて、日本の強みである技術力の高さ、品質の良さ、安全管理、維持管理まで含めたライフサイクルコストの優位性等をアピールするとともに、人材育成を含めた国際貢献を目指します。

これらの重点目標の達成に向け、本部・支部及び都道府県協会が手を携え、更には関係機関・団体との連携を強化して参ります。

今我が国では政府・経済界を挙げて「働き方改革」への取組が始まっており、建設業においても「生産性の向上」や「働き方」が大きな課題となっています。一方、電気設備工事は様々なしわ寄せを受けやすく、現場への負担がますます大きなものになりかねないと危惧しています。

本年は、電設業界としても、現場負担の軽減、生産性の向上に繋がる「働き方改革」に新たに取り組んで参りたいと考えています。

結びに、皆様方のご健勝をお祈り申し上げ、新年のご挨拶と致します。



1 年を振り返って

詳しくはホームページをご覧ください。他の活動についても掲載されています。

<http://www.tidenkyo.jp/>

第54回通常総会

| 開催日時、場 所 | 内 容 | 出席者・対象等 |
|-----------------------------|--|--|
| 平成28年 5月25日 オークラ千葉ホテル | 第54回通常総会 ・第1号議案 平成27年度事業報告について ・第2号議案 平成27年度収支決算について ・第3号議案 平成28年度事業計画について ・第4号議案 平成28年度収支予算について ・第5号議案 任期満了に伴う役員改選について | 出席 52人 書 面 26人 委任状 26人 計 104人 |

第54回通常総会懇親会

| 開催日時、場 所 | 出席者・対象等 |
|-----------------------------|-------------------------------------|
| 平成28年 5月25日 オークラ千葉ホテル | 来賓 26名 会員 51名 賛助 22名 計 99名 |



地区別会員交流会

| 地区別 | 開催日 | 会場 | 出席者 |
|---------------|----------|------------|------------|
| 千葉・市原地区 | 8月 5日(金) | 割烹「をざわ」 | 地区会員16社19名 |
| 東葛・葛南地区 | 8月 3日(水) | 割烹旅館「玉川」 | 地区会員19社20名 |
| 北総・東総・山武・長生地区 | 8月 4日(木) | Uーシティホテル | 地区会員14社14名 |
| 夷隅・安房・君津地区 | 7月22日(金) | 東京ベイプラザホテル | 地区会員15社16名 |



三県連絡会議

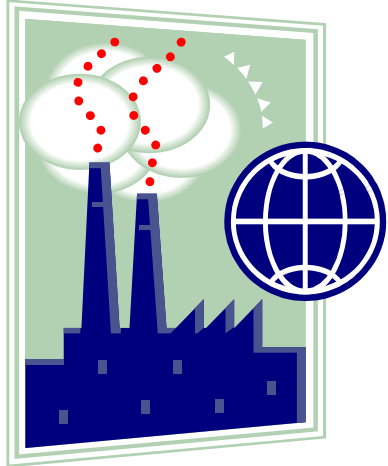
| 開催日時、場所 | 内容 |
|---------------------------|--|
| 平成28年 11月21日 東京電業会館 | <p>(提出議題)</p> <ul style="list-style-type: none"> 各協会に提出している「国への要望」を三県からの意見として、電設協関東地区協議会への提案とすることについて 平成 29 年度予算要望項目と平成 30 年度予算要望に向けた各県の取組について 労務を含む製品購入の契約方法について |

| 出席者数 |
|---------|
| 千葉県 10名 |
| 神奈川県 4名 |
| 埼玉県 5名 |



千葉県高等学校工業教育研究会「総合技術コンクール」

| 開催日時、場 所 | 内 容 | 出席者・対象等 | 備 考 |
|------------------|--|----------------|---------------------------|
| 11月19日 東総工業高校 | <ul style="list-style-type: none"> ・工業高校総合技術コンクール審査員派遣 ・電気工事を含む10部門による競技 ・大会参加者 県内9校 170名 | 審査員 4名 他 1名 | 9/14 事前打合せ 10/13 事前打合せ |



委員会報告 防災・渉外委員会

委員長

南山 和也



防災・渉外委員会の昨年の活動についてご報告申し上げます。

災害防止事業としては、継続して千葉県電業協会防災隊の体制を維持するとともに、防災隊の連絡体制等の実効力が高まるよう試行錯誤しながら研修会や防災訓練を実施いたしました。

公共工事発注機関への陳情・提言等としては、千葉県・国土交通省との意見交換を行うとともに、会員からの要望を吸い上げて市町村への分離発注の陳情を実施いたしました。

新年度は、防災活動においては継続的な活動を行うとともに過去に千葉県よりも被災程度が大きかった地域でどのような状況であったか等の調査を実施する意向です。渉外活動については、業界の発展を念頭におき、分離発注への要望はもちろん、県内企業の受注機会を増やしていくこと、適正な経費を確保できるよう受注価格の底上げ等を意図して取り組んで参ります。

防災・渉外委員会の活動を通して、会員の皆様の技術の研鑽、会員相互の連携の強化に貢献できればと考えております。会員の皆様にも引き続き活動への御支援・御協力・御意見を頂けますようお願い申し上げます。

(1)災害防止事業

①震災訓練等

| 開催日時、場所 | 内 容 | 出席者・対象等 | 備 考 |
|---------------|----------------------|------------------------|------|
| 平成28年 8月2日 | 情報伝達訓練 | 全会員 108社 | |
| 9月1日 | 千葉県県土整備部との 合同震災訓練 | 本 部 15名参集 地 区 50名実働 | 県内全域 |

②県出先機関防災説明

| 実施日 | 内 容 | 出席者・対象者 | 訪問先 |
|--------------------------|--------------------------|------------------------------------|----------------|
| 平成28年 6月14日～ 7月12日 | 災害応急対策組織及び災害 応急業務について | 地区担当理事 防災・渉外委員 防災隊長 事務所隊長 | 県出先機関 21事務所 |

③その他災害応急対策に係る事業

| 開催日時、場 所 | 内 容 | 出席者・対象等 | 備 考 |
|-----------------------------|--|---------|--------|
| 平成28年 7月27日 オークラ千葉ホテル | 防災研修会 ・平成28年度伝達訓練と県との 合同震災訓練について ・災害応急実働報告について ・各事務手続きについて | 会員 82名 | 説明 委員会 |
| 9月～3月 | 災害応急対策に係る緊急 通行車両調査・申請手続き 及び災害優先電話案内 | 全会員対象 | 県担当課報告 |

(7)公共工事発注機関への陳情・提言等事業

| 月 日 | 陳 情 先 | 陳 情 者 | 内 容 |
|----------------|---|--------------------------------------|---|
| 平成28年 4月12日 | 県土整備部他 関係各機関 17課 公 社 2社 | 会長、副会長3名 理事1名、常務理事 | ・会員への優先発注 ・分離発注の積極的な 導入について |
| 6月14日～7月12日 | 県出先機関 21土木事務所 他 57か所 | 地区担当理事 防災・渉外委員 地区防災隊長 事務所隊長 | ・異動挨拶 |
| 9月 8日 | 県土整備部 施設改修課長 施設改修課副課長 営繕課副課長 教育庁企画管理部 財務施設課副課長 | 常任理事4名 理事1名 鎌形常務理事 | 県との意見交換会 ・労務を含む製品購入の契約方法について ・一般競争入札の見直し(3項目) 1.地域精通度の実績について 2.応募受付 3.入札参加資格要件の緩和について ・担い手確保に資する労働環境の整備等に ついての検討(3項目) 1.工事現場の完全週休2日制 2.労働時間の適正化 3.竣工期限の分散化 ・施工 VE の採用について ・その他(3項目) 1.指名競争入札における業者選定について 2.分離発注について 3.竣工書類の簡素化について |
| 11月14日 | 千葉県 | 五十嵐会長 鎌形常務理事 | 意見交換会 |
| 12月 1日 | 関東地方整備局 | 五十嵐会長 | 意見交換会 |

※意見、要望、提案事項等の内容につきましては、HPをご覧ください。

委員会報告 技術・人材委員会

委員長

細 矢 充



新年明けましておめでとうございます。

昨年は、関係各位のご協力を賜り、経営に役立つ研修会をはじめ技術向上・資格取得・営業活動支援など年度計画通り実施することが出来ました。会員企業から数多く参加を頂き、各事業とも盛会で終えることができました。深く感謝申し上げます。

技術・人材委員会では、会員各位の技術の研鑽、経営品質の向上、安全確保を目指し、委員会活動を進めております。

千葉県内の電設業界では技術者・労働力不足が、至近の課題であります。また、将来にわたり、業界の担い手不足は、さらに深刻化する恐れがあります。今後、担い手の確保・育成や女性の活躍する場の創造、そして、労働環境の整備が重要となります。次年度は、男女共同参画の事業に積極的に参加し、女性の工事現場への入職の可能性を検証し、すこしでも、皆様のお役に立てればと考えております。

引き続き、関係各位や会員の皆様からご支援・ご鞭撻を頂き、よりお役に立てる『技術・人材委員会』を目指してまいります。本年も何卒、宜しくお願いします。

(3)講習会事業

| 開催日時、場 所 | 内 容 | 出席者・対象等 | 結果等 |
|------------------------------|-----------------------------|---|-----------------------------------|
| 平成28年 4月 8日 15日 22日 | 1級電気工事施工管理技術 検定試験受験準備講習会 | 受講生 会 員 9名 非会員 6名 講 師 6名 (ホリテクカレッジ等) | 筆記試験合格率 全国 46.0 % 協会 26.7 % |
| 9月 2日 9日 16日 | 2級電気工事施工管理技術 検定試験受験準備講習会 | 受講生 会 員 11名 非会員 5名 講 師 6名 (ホリテクカレッジ等) | 試験合格率 ※2月発表のため、 未確認 |

(4)事故防止事業

①安全研修

| 開催日時、場 所 | 内 容 | 出席者・対象等 |
|-----------------------------|--|---------|
| 平成28年 7月27日 オークラ千葉ホテル | 安全研修会 「送り出し教育とリスクアセスメントについて」 講 師 技術・人材委員 | 会 員 84名 |

(5)資機材調査研究事業

①資機材調査研究

| 開催日時、場 所 | 内 容 | 出席者・対象等 |
|-----------------------|-------------|---|
| 11月17日 Ocean Table | 賛助会員との情報交換会 | 賛助会員 6社 8名 協会出席者 役 員 5名 委 員 5名 |

(8)人材の確保及び育成事業

| 開催日時、場 所 | 内 容 | 出席者数 |
|-----------------------------|--|--------------------|
| 平成28年 9月27日 オークラ千葉ホテル | 経営講習会 テーマ「発想の転換について」 講 師 いすみ鉄道(株) 代表取締役社長 鳥塚 亮 氏 | 会 員 33名 |
| 11月17日 オークラ千葉ホテル | 技術研修会 ・「地震災害を避け！感震ブレーカー動向」 (株)扇港電機／日東工業(株) ・「貫通部防火措置材(タフロック)講習」 新明電材(株)／ネグロス電工(株) ・「確実な工事施工と安全対策について」 千葉県県土整備部営繕課 企画調整班 副主幹 堀澄 哲雄 氏 | 会 員 53名 賛助会員 8名 |



委員会報告 総務・企画委員会

委員長

中村和彦



新年明けましておめでとうございます。

総務・企画委員会より、昨年の委員会報告をさせていただきます。

当委員会のメイン事業である就労支援事業の一つとして、毎年行っている出前授業があります。出前授業とはその学校に出向き、生徒達に①電気工事業界に興味を持ってもらう、②失敗しない就職選び、③我々の仕事の施工管理と電工の違いなどをレクチャーします。一昔前は、講義中に寝ている生徒達もいましたが、その対策として、形式をグループディスカッションにし、発表時間を設けて好評に至っています。失敗しない就職選びとは、実際には電工を希望していたが、施工管理の職種に配属されたなどの働き手と会社側のミスマッチが起こる場合もあるけれど、地元企業はそのような時もかなりアクティブに対応できる、つまり我々のような地元企業に目を向けてもらう方向に繋げていきたい、そんな狙いがあります。当委員会では、毎年、工業高校の技術コンクールに審査員を派遣しておりますが、近年では、コンクールでの採点表を作成するなど、若い世代に裾野を広げるために地道な活動も行っております。就職するならば、地元にある千葉県電業協会の会員企業が最良ですよ、と今年もアピールしていきます。本年も宜しくお願い申し上げます。

就労支援事業

| 開催日時、場所 | 内 容 |
|------------------|-------------------------------------|
| 2月 4日 千葉工業高校 | 出前授業 |
| 2月22日 市川工業高校 | 出前授業 |
| 3月 9日 ポリテクカレッジ千葉 | 出前授業 |
| 4月 8日 全会員向け | 人材育成・確保に関する調査の実施(採用状況、インターンシップ受入れ等) |
| 6月中 県内工業高校等9校 | 人材育成・確保に関する調査の実施結果及び各学校の就職率等についての調査 |

広報関係

| 開催日時、場所 | 内 容 |
|---------|---|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・HPの更新 ・各行事 予定、案内、報告 ・人材情報 ・他団体からの各案内 ・建設新聞各紙への取材依頼 ・1、2級電気工事施工管理技術検定試験受験準備講習会の一般募集 ・通達等 国関係、関東地方整備局、県関係、その他 ・入札公告 北関東防衛局 |

ある一つの目標に向かって



東亜電設工業（株）

工務部・安全部長 菊地 晃



昨年の7月31日に主要取引先の会社様が主催して行われたカートレースに、急遽参加させて頂く事になりました。5月の後半頃にその事を社員全員に報告すると、皆一様に顔を合わせての苦笑いや、「・・・」と言った表情でした。全くの未経験ジャンル、ましてや私自身はかなりエンゲル係数が高い為、正直なところ「俺には関係ないな！」と思って気にもしていませんでした。それから2、3週間経ちましたが、私も他の社員もこの事について何も触れず、ただ時間ばかりが過ぎていきました。

6月の中旬頃に社長から、「例のカートレースの件で、参加ドライバーのエントリー用紙が送られて来たので対応するように！」と言われ、「早く4名のドライバーを選出させなければいけない。」と思った私は、その日から必死になって各社員に声をかけました。しかし、通常の業務で疲れた上、日曜日にまる1日費やされてしまうとなると、よほどの物好きでない限り、参加してはくれません。そこで、この状況を社長に相談した所、近くのサーキット場で各自1回のタイムトライアルを行い、ベスト4になった人をエントリーする事になりました。

その週末、現場から帰ってきた社員達と私も含め6名で近くのサーキット場に行きました。私は、当日に向けての準備を全面的に成功させるという立場にある為、まさかサーキットで自分が走る事になることはないだろう・・・とっていました。しかし、私もこういう事が嫌いではありません。むしろ大好きです。他の人の手前、心の内がばれない様にいやいや感を出しつつも、「何人たりと俺の前は走らせぬ！」と並々ならぬ意気込みで、初めてカートに乗りました。他の5名は、自分より若く、しかもスリムなので、正直こちらの勝算はほぼゼロ。それでも、「みんなの闘争心に火がつけば」と思い参戦、いざ5分間のレースが始まりました。初めは、コースの感覚、車の挙動など探りを入れながらの練習を兼ねた走りを4~5周した後、シグナルが赤から緑になり一斉にスタート。皆、初めての経験の為、あちらこちらでスピン&クラッシュでスリル満天のレース展開でした。楽しい時間は経つのが早くあつと言う間に5分が過ぎ、レース終了となりました。

その後、参加者のタイムが載っている用紙を受け取り、自分のベストラップを見ると予想外の6人中2番目の好タイム。表情には出しませんでしたが、内心はガッツポーズで「よっしゃー！おじさんパワーを見たか！」という感じでした。その結果を会社で公表すると、興味が無かった社員等を含めみんなのやる気に火がつき、各自仲間同士でサーキット場に行ってラップタイムを競

う様になり、いつしか「やらされている」から「やってやる」という気持ちに変わっていき、資材等の準備も一丸となって行う様になり、「ある一つの目標に向かって」が現実となりました。

そして、ベストメンバーでエントリーし、機材を揃え、レーシングスーツも新調し、レースの当日を迎えました。あいにく天気が悪く予報は雨、何とか雨が降らずにもつようと祈るような状況の中で、いざ90分間のレースがスタートしました。我々の戦略は、最初に攻めて前へ出るために若くて軽いドライバーが前半を戦い、その作戦が功を奏したのか、初エントリーにも関わらず、常連常勝のチームを押さえ先頭をキープすることが出来、抜かれたチームは私たちの車を何とか抜かそうと限界を超えた猛スピードで攻め、幾度かスピンを繰り返し、一喜一憂しながらの一瞬も気が抜けない展開となりました。その後も緊張した状況が続き、私達と常勝チームの差は、ドライバーチェンジに起きる1周の差しか無くほぼ互角の状況でした。しかし、スタートから60分が過ぎた時、突如ゲリラ豪雨が・・・。コースに水が溜り一時中断し、そのままレース終了になってしまいました。

結果、4人交代した私たちは、1周の差で常勝チームに負けてしまい、惜しくも2位でしたが、社員が一丸となって取り組んだ最高の結果だと思います。「雨さえ降らなければ優勝できたかもしれない」と言う位のレース展開だったので、非常に悔しいのも確かです。全員が来年も、「またやりたい。もっと練習して優勝したい!」とっていました。ここでまた、「ある一つの目標に向かって」という社員一丸となって進む一つの団結力が芽生えました。この様な想いを一つ一つ重ねる事により、会社内の調和やさらなる団結力が出来て、みんなが成長して行くのだと私は思いました。

最後に、私自身、来年はウエイトを落としてもっと頑張るぞという意気込みで、タイトルの「ある一つの目標に向かって」を締めくくらせて頂きたと思います。以上、ご精読ありがとうございました。



レース中の私、もう必死です！！

わが町、木更津市の芸能情報



南総電機（株）

代表取締役 近藤 雅文



弊社は、木更津市に起業して60周年を迎えました。

事業内容については、「電気工事業・機械器具設置工事業」を主として営んでおります。

初めに、私の地元である木更津市における最近の芸能情報をお知らせいたします。10月23日に開催された、「アクアラインマラソン 2016」は、17,000人の参加で大盛況に終わりました。タレントランナーでは、にしおかすみこ、吉木りさ、八波一起らが参加し、レポーターとして、元AKB48の秋元才加、小島瑠璃子らが参加しておりました。

さて、昨今では国内の地方都市の自治体が積極的に映画のロケ等の撮影誘致を行っており、なかには、産業の一つとして成り立っている所もあります。我が木更津市の商工観光課でも、市内の施設や会社関係を映画やドラマで使用することを推奨しており、弊社においては、製作会社（現地企業のコーディネーター）からの依頼があり、弊社工場及び事務所を使用して作品を制作しています。

最近では、ドラマ「新・ミナミの帝王」で千原ジュニア、安達祐実、赤井英和、大東駿介らが来社し、映画では「梟〜FUKUROU〜」で、DA PUMPのISSA、KENZOらが来社したり、元・光GENJIの大沢樹生監督作品2作目の撮影で、野村宏伸、元・新宿ホストの帝王城咲仁らが来社して撮影を行いました。他にも、ここでは詳しく説明はできませんが、VシネマのAO女優も来社しております。撮影場所を提供したということで、俳優・女優と会話したり写真及びサインをもらったりと、特典も多数ありました。また、撮影スタッフから色々なゴシップネタも聞くことができました。

皆さんも、木更津に来ると、もしかしたらどこかで芸能人に遭遇できるかもしれません。是非一度、木更津市にお越しください。



俳優・赤井英和氏と私



DA PUMPのISSA氏と私の家族

老いて益々輝くために



房総電機工業（株）

山本 邦彦



今、日本には、後期高齢者と呼ばれる75歳以上の人が1641万人いるそうです。

この後期高齢者の「後期」と云う言葉に「^{ひかり}光」と「^{かがや}輝く」の二文字をあてた「^{こうき}光輝 高齢者」と云う表現を目にしたことがあります。

75歳を過ぎて益々光輝く・・・高齢者が元気に活躍するイメージが伝わり、気持ちが明るくなります。

しかし、老いにはほかの世代にない輝きがある一方で、つらいと思わせられる現実があることも否定できません。高齢の家族を介護されている人からすれば、光り輝く高齢者と云う言葉もきれいごと聞こえ、むしろ「お金もかかり、面倒な事も」と、やりきれない思いを溜め込んで苦しんでいる方もおられるでしょう。人には言えない苦労や複雑な思いを抱え、愚痴をこぼしながら、それでも「元気になってほしい」と願う。心の奥底で、一所懸命に尽くしたいと思う思いやりは、間違いなく介護を必要とする方の家族であり、慈悲心を持った多くの支援者です。

私も年々足腰も弱くなって来ましたが、仲間と一緒に趣味のサークル等で生きがいを作り、介護や支援に頼る事なく頑張り続けて行ければと願っています。



浜離宮恩賜公園よりザ・トキョークワーズを臨む



枝ぶりの見事さに心を打たれた松

健康的な体作りのために



(株) 間宮電気工業

渡辺 貴之



皆さん、「Stand Up Puddle Board」という言葉をご存知でしょうか？

通称「サップ」と呼ばれており、サーフボードの板の様なボードに乗り、パドルを漕ぎ海の上を自由気ままに移動する新しいスポーツです。

サップには他にも水上でヨガをしたり、サーフィンのように波乗りをしたり、釣りをしたりと様々な楽しみ方があります。

私がサップを始めたきっかけは、年齢が30歳を超え体調を崩し、体力的な衰えを感じたことからです。カヤックやカヌーの様なマリンスポーツをしてみたいと漠然と考えていた時に、体幹を鍛えられるというサップを知り興味を持ちました。友人にサップの話をしてみたところ、友人も興味を持ったことから2016年の6月の終わり頃から道具一式を揃え、本格的に始めました。当初、波が高かったり風が強い時は全くボードの上に立つことが出来ませんでした。ほぼ毎週末に海へ行き練習をすることで、多少の波風では落水することもなく、写真を撮ったり風景を楽しんだりサップを楽しんでいます。私にとってのんびりと時間を過ごせるので良いリラックスになっています。

またサップは海以外に川や湖でも使用することが出来るので、秋には湖でサップをしながら紅葉狩りを楽しみました。

今後も休日は健康づくりをしながらサップで心と体をリフレッシュしていきたいと思っています。まだまだ知名度が低いので、興味を持たれた方は是非体験をしてみてください。



さあ、浜からパドルを漕いで海へ出発！



海の上で・・・目線の高さが違います。